

一般質問 Q & A



共に創る掛川
藤澤 恭子

総合型ボランティア活動推進の構想を

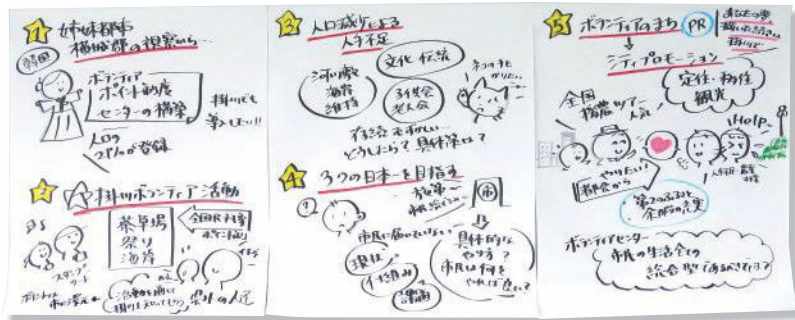
Q 人口減少、超高齢社会を見据え、今後はより一層の市民力が必要になる。市民力の底上げと地域社会の課題解決のために、総合的なボランティアセンターとポイント制度の導入を検討し、新たなシティーセールスとして広く全国へプロモーションしてはどうか。

先進地などの事例をもとに検討

A ボランティアセンターの必要性を確認し、民衆業圧迫にならないか、アルバイトとの区別など、様々な検討を行います。

ポイント制度導入については、^{フロンティア}横城郡（韓国）や全国の施策を調べ、制度の主体や継続性、資金提供者、地域経済への効果、対象とする活動など、多角的に検討していきます。

また、全国の方に、「掛川市は多様な人々の力が発揮できるまちであり、そのような方を広く受け入れるまちである」ことをアピールしたシティープロモーションを進めていきます。



傍聴者の「桃色かけがわ6」メンバー田辺エミさんによるファシリテーショングラフィック ※議論を絵と文字で視覚化する手法です。



公明党かけがわ
山本 行男

職員の不祥事への再発防止策を伺う

Q 児童買春の疑いで職員が逮捕され、市長は「今回の不祥事は市民の信頼を著しく失わせた」とし、この職員を懲戒免職にした。今後、このような事件の再発防止策を伺う。

高い倫理観と豊かな人間性を育むための研修を実施

A 今回の不祥事は、公務員としての責任感、倫理観の欠如から起こった事件であると認識しています。二度と不祥事を起こさないため、高い倫理観と豊かな人間性を育むための研修を実施します。職員一丸となって市民の皆様の信頼の回復に取り組みます。

大型商業施設の計画は

Q ユニー株式会社経営陣の人事等もあり、アピタ掛川店の増床の計画が遅れている。

毎年の市民アンケートでは大型商業施設を望む声が常に上位にあり、市はこの声にこたえていかなければならない。現在の進捗状況を伺う。



アピタ掛川店

基本協定に基づき計画どおり進めるよう働きかける

A ユニーと基本協定を結んだ大規模商業施設の建設は、掛川市にとって最も重要な政策であるため、今後も基本協定に基づき計画どおり進めていただければ積極的に働きかけていきます。